

「日々の理科」(第 4030 号) 2025, -8, 19

「北海道一周鉄道旅行 (32)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



白老駅からは「樽前山 (たるまえさん/1041m)」が見えます。樽前山は活火山で、中央に溶岩ドームがある特異な山容が目立ちます。昭和に入ってから、たびたび噴火その他の火山活動が見られます。



白老駅で降りたのは、この「すずらん号」という特急列車に乗りかえたかったからです。



「すずらん号」は、札幌から苫小牧、東室蘭などを

経由して、室蘭までを結ぶ特急列車です。以前は急行列車でした。営業キロは約 136km で、北海道内の特急では比較的短距離の列車です。



すずらん号も全車指定席ですが、これも空席に自由に座れます。札幌から苫小牧までの利用が多く、白老ではガラガラでした。全車自由席にしても良いような気がしました。



東室蘭駅から「室蘭本線の支線」に入り、ほどなく終着室蘭駅に着きました。室蘭本線は、長万部～東室蘭～苫小牧～追分～岩見沢を結ぶ線区ですが、室蘭市の中心部は、半島の先端付近にあるので、東室蘭駅から支線が分岐しているのです。



終着駅らしく「車止め」があります。現在の室蘭駅はホーム1面、線路2線のやや淋しい駅です。売店やみどりの窓口も次々と廃止され、かつて石炭輸送などで栄えた名門駅も、すっかり落ちぶれた感です。

発車時刻表 Departure Time	
函万線・東室蘭・苫小牧・札幌方面 for Oshima, Muroran, Higashi-Muroran, Tomakomai & Sapporo	
5	5:25
6	6:25
7	7:07
8	8:09
9	9:12
10	10:50
11	11:45
12	12:52
13	13:44
14	14:16
15	15:50
16	16:44
17	17:40
18	18:44
19	19:53
20	20:42
21	21:27
22	

それでも列車は1時間に1～2本はあります。赤字の時刻は、札幌まで直通する特急です。



室蘭駅周辺には海岸沿いを中心に、観光名所が点在しています。いずれもバスかタクシーでの移動が必要なので、今回はこのまま折り返すことにしました。



「地球岬の灯台」(画 ; C.Tanaka)

室蘭で一番有名なのが「地球岬」でしょう。かつて一回だけ行ったことがあります。本来は、アイヌ語の

「チケプ(断崖)」が転じ「チキウ岬」が正しいのですが、漢字を充てて、本来の意味とは無関係の「地球岬」となったのです。しかし実際に岬に立ってみると、地球の海だなぁ、と感じてしまいます。



かつての室蘭駅は入母屋造りの重厚な雰囲気駅の舎で、いかにも終着駅という堂々たる風格でした。現在の駅舎は、駅というよりも、科学館の玄関のような、近未来的でカッコイイ構えです。



しかし駅前には工業都市の雰囲気はなく、昼下がりの東京近郊の私鉄駅の駅前のようで、閑散としています。



乗ってきた列車は折り返して、札幌行きの特急になります。これに乗って東室蘭駅まで戻ります。